

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どすこい昭和町部屋		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (2家庭)	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土日祝日に野外活動を通して、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の五領域を横断的に育み、自然の中で身体を動かし、五感をふるに使います。仲間と協力する事を通して、主体性・自己肯定感・社会性を高めることを目指します。	木登り(体幹・挑戦心)、森林探検(観察力・判断力)、焚火(役割分担・危険予測)等、子供の特性に応じ里山での体験を五領域の目標に結び付けて言語化・振り返りを行います。	事業所内での研修の充実化や外部研修の積極的な参加を通して、スタッフの専門知識の強化を進めていきます。
2	物流グループ(吉川ロジスティクスグループ)の一員である株式会社どすこいは、グループとの連携とサポートにより、ご利用者に対するサービスの強化を行っています。	イベント等に応じて、親会社より送迎バスを手配してもらったり、危機管理に関する講習(運転業務、夏場のアウトドアでの活動)を行っています。人間的なサポートもあります。	株式会社どすこいは、グループのサステナブル事業をになうという位置付けです。現時点では事業は放課後等デイサービスと児童発達支援のみですが、来年度はどすこいの卒業生の受け入れ先としての、就労継続支援事業を予定しています。
3	提供するおやつへのこだわり。支援の一環としてのおやつ作り。	出来るだけ手作りのもの、無添加の物を提供します。子供達と一緒に手作りする事によって、「見通し→協力→完成→達成感→共有」という成功体験を積み重ねます。	現時点では料理が得意なスタッフの支援となっています。一連の流れをマニュアル化してスタッフ間で共有し、すべてのスタッフが支援としてのおやつや料理作りに責任が持てるよう、進めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用者の年齢層が未就学児から高校生まで幅広く、支援への対応が難しいこと。	どすこいは、児童発達支援(未就学児)と放課後等デイサービス(小学生～高校生)の「多機能型」の為、お預かりする年齢層が幅広くがちです。長くご利用して頂いている児童は自動的に高年齢化していき、新規にご利用して頂く児童は低年齢が多い為、どうしても年齢層に幅が出てしまいます。	年齢層やそれぞれの特性に合わせた個別の支援(フロア別、支援内容別等)、計画的に実施していきます。
2	支援内容があまり周知されていないこと。	SNS等積極的に情報発信はしていますが、あくまで参加当日の「様子」であり、具体的な支援の内容まで落とし込めていないと考えます。	まずは各スタッフが専門性を高め、オープンフィールドや送迎時ご家族と話す機会がある時に、支援計画に基づいた説明を出来るよう進めていきます。
3			